

Instagram での参加型書道

#週一枚の臨書課題 (2019) #週一枚の臨書課題からの (2020) 【経過報告】

(1) はじめに

“キャリア不問・申込不要の参加型書道”を謳って2019年1月1日にスタートした「#週一枚の臨書課題」は2019年末で一段落したところ、多くの継続リクエストやご意見を頂き、環境を整備して2020年1月6日より「#週一枚の臨書課題からの」として再出発し現在に至ります。コロナ禍のはるか前からの地道な活動が今や大きな書道ウェーブとなりました。今後も丁寧にこの活動を継続してまいります。まずは以下のとおり現状をご報告申し上げます。

(2) 主催者

読売書法会役職・所属・年齢	Instagram 個人アカウント	Instagram 課題公開アカウント
上籠鈍牛 (理事・郁文社・35歳) 発起人	@dongyu_uegomori (6,967 フォロワー)	@shu_1mai (1,541 フォロワー)
阪野 鑑 (理事・璞社・43歳)	@kangallery (6,132 フォロワー)	
伊藤江星 (幹事・璞社・37歳)	@kouseian.hitotare (5,818 フォロワー)	

※2020年から、拓本収集家に年4回のゲスト出題を、Web制作業の方に課題公開アカウントの運営を依頼している

(3) 活動概要

- 毎週月曜日 0:00 過ぎに臨書課題を公開 (半紙を縦使用・指定した漢字5~6字。字が縦長の場合は4字のこともある)
- 主催者および参加希望者はハッシュタグ「#週一枚の臨書課題からの」を付けて作品を投稿
 - ①②を毎週淡々と繰り返すシンプルな構成。②の状況を日々カウントし、集計データの報告を不定期で実施
 - 皆で同じ内容の作品を投稿し合うことで「一体感」「所属感」を創出し、いいね!の交換で「承認欲求」を満たす
 - 投稿者同士の活発な交流も生まれていて、独学者や無所属の方にも心強い環境となっている

(4) 反響

2019/1/1~2020/11/8	678 日目
投稿参加者数	681 名
投稿作品数	14,777 作品
出題された課題 (古典)	86 課題 (古典)

- 休んでもよし、遅れてもよし、主催者が若い、これが気楽さの三要因
- 経験や書風に左右されないフェアな内容に定評。また、学んだことのない古典に触れる機会としても価値がある
- 古典課題と臨書作品例を蓄積。教材としても大いに活用でき、流行り廃りのない「資源」として今後期待できる



(5) 成果

- 主催者3人が読売書法会役員であることから、古典に立脚した伝統の書への興味関心を創出
- 各主催者の Instagram 活用スキルアップ
- 各主催者が運営する書道教室の生徒数増加
- 各主催者が Instagram へ情報公開したことによる展覧会情報等の認知拡大
- オフ会の実施によるリアルな交流 (コロナ禍以前)

(6) ストーリー

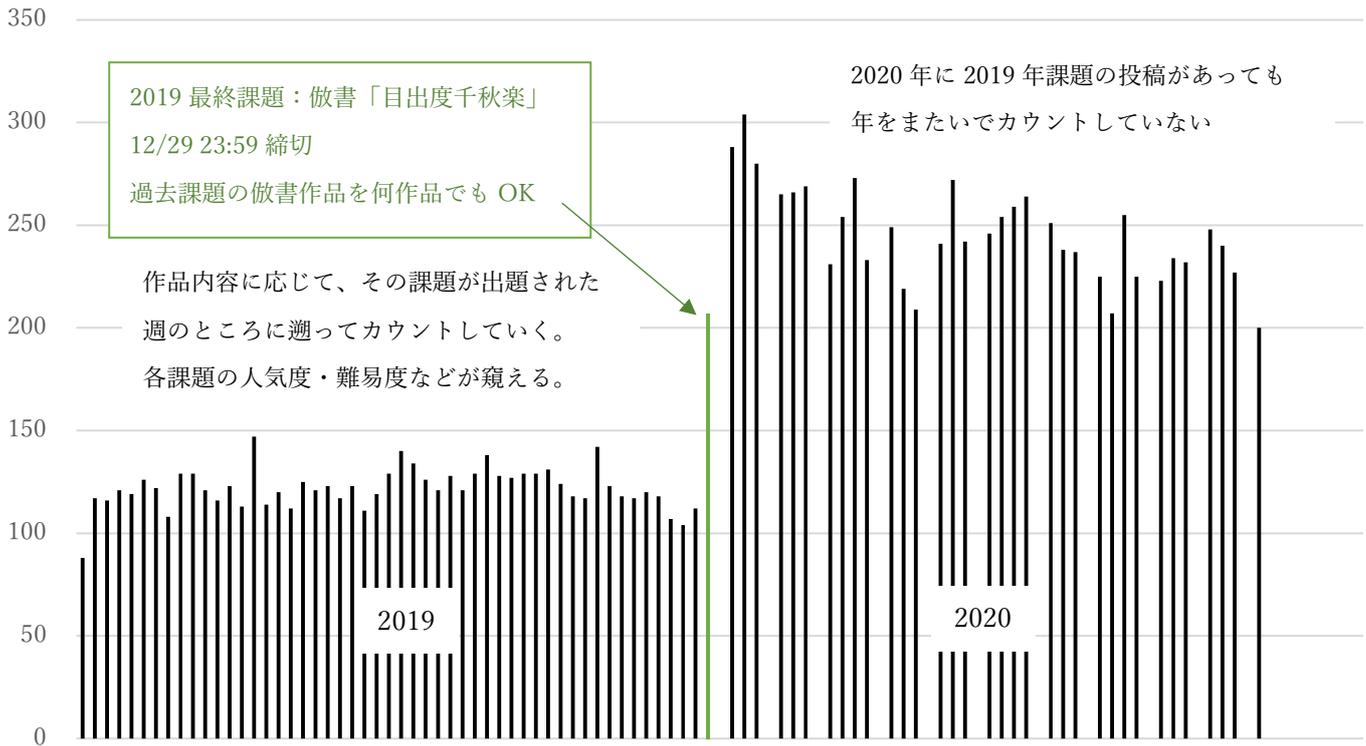
2018/11/5	Instagram で交流のあった3人が大阪で会合した際に、上籠の発起により、3人を主催者とする臨書企画を2019年元日にスタートすることを約束。後日、企画名称は阪野の提案による「#週一枚の臨書課題」に決定。いつ何をするのが一目瞭然の企画名とした。また当企画のカテゴリーを分かりやすく示した「#参加型書道」は上籠の提案による。
主催者3人のキャラクター	豊富な発想の上籠 …様々な提案を投げかける 冷静沈着な伊藤 …実施に向けて諸々見極める 形にするのが好きな阪野 …集計・記録・傾向分析
2019/1/1	何の予告もなく第1回課題を投稿。はじめの週は主催者を含め13投稿だった。以後、休みなく毎週月曜0:00に出題。
主催者3人の立ち位置	はじめは投稿された作品に3人のいずれかからコメントをするようにしたが、投稿数が増えてきて難しくなった。またコメントをすることで3人が「指導者」のような振る舞いをしているように映るリスクに気づき、以後コメントは避けて「主催者」「運営者」に徹することとした。我々はまだ若いので謙虚でありたいという思いから。 しかし何もコメントがないのは参加者に対してフォローアップ不足となるため、課題公開投稿の際にその課題に臨むにあたってのコメントを付けるようにした。
2019/4	オフ会実施（大阪・ランチ）15名ほどが参加。
2019/11	大阪に3人集合して2019終盤の諸企画や2020年に向けての会議。 同日、オフ会実施（大阪・夕食）15名ほどが参加。
主催者3人の気持ちの表明	企画が進むにつれて3人から投稿者への感謝の気持ちが一層つよくなってきた。主催者としての感謝の言葉を自身の投稿内で表明することが多くなってきたように思う。企画自体は決まった形で淡々と進めつつも心を込めて運営し、心のある企画だとして感じてもらえるように。
2019 千秋楽	感謝のコメントの嵐。ありがたい。 次年度への要望も収集して、2020年企画を練り直した。
2020/1/6（月）	2020年企画「#週一枚の臨書課題からの」第1回課題を投稿。幸先よくこの週174投稿。 【2019との変更点】 ①月の最終週は休みとして新たな課題を出題しない。過去の課題の投稿はできるので遅れを取り戻す機会にしてもらう。 ②月曜が月に5週ある場合は、4週目にゲスト出題者が登場、5週目を休みとする。 ③課題公開アカウント「@shu_1mai」を開設し、過去の課題を一覧できるようにする。 ④出題書籍とページを明示。2020年は二玄社「中国法書選」からの出題と決めて告知した。 ⑤2019年は五書体をランダムに出題したが、2020年はひと月の中で「楷」「行草」「篆隸」が学べる競書雑誌をイメージし、主催者3人でバランスよく分担して課題を選定した。
2020/3/1	東京でのイベントとオフ会を企画していたが、コロナで延期判断。
2020/5/24	通算10,000作品達成
2020/9	大阪に3人集合して2020終盤の諸企画や2021年に向けての会議。
2020/11/下旬	通算15,000作品達成見込み
<p>数値データが多いので機械的な集計に見えるかもしれないが、ひとつひとつの作品は投稿者の汗と涙の結晶だと思って、心を込めて鑑賞したうえで入力している。その思いを伝えるための「集計LIVE」を不定期で実施し、当企画を支えるファン層の確保につとめている。</p>	

集計表

2019.1.1~2020.11.8 (678日目)

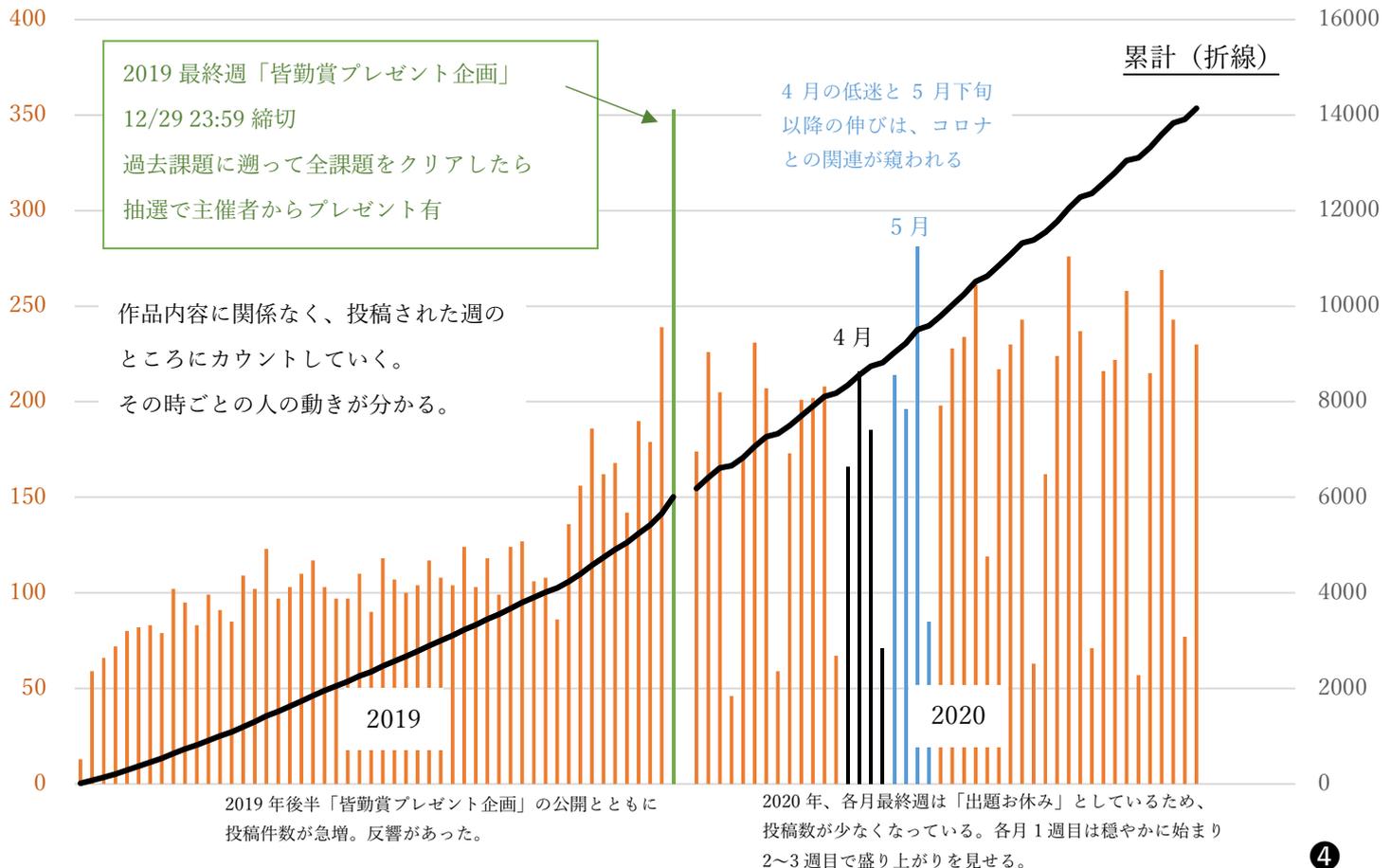
Main data table with columns: 課題別作品数, 週ごとの投稿件数, 参加者, 課題公開. Includes sub-tables for '31' and '3' categories.

課題別作品数（1投稿に2作品あれば2カウント）

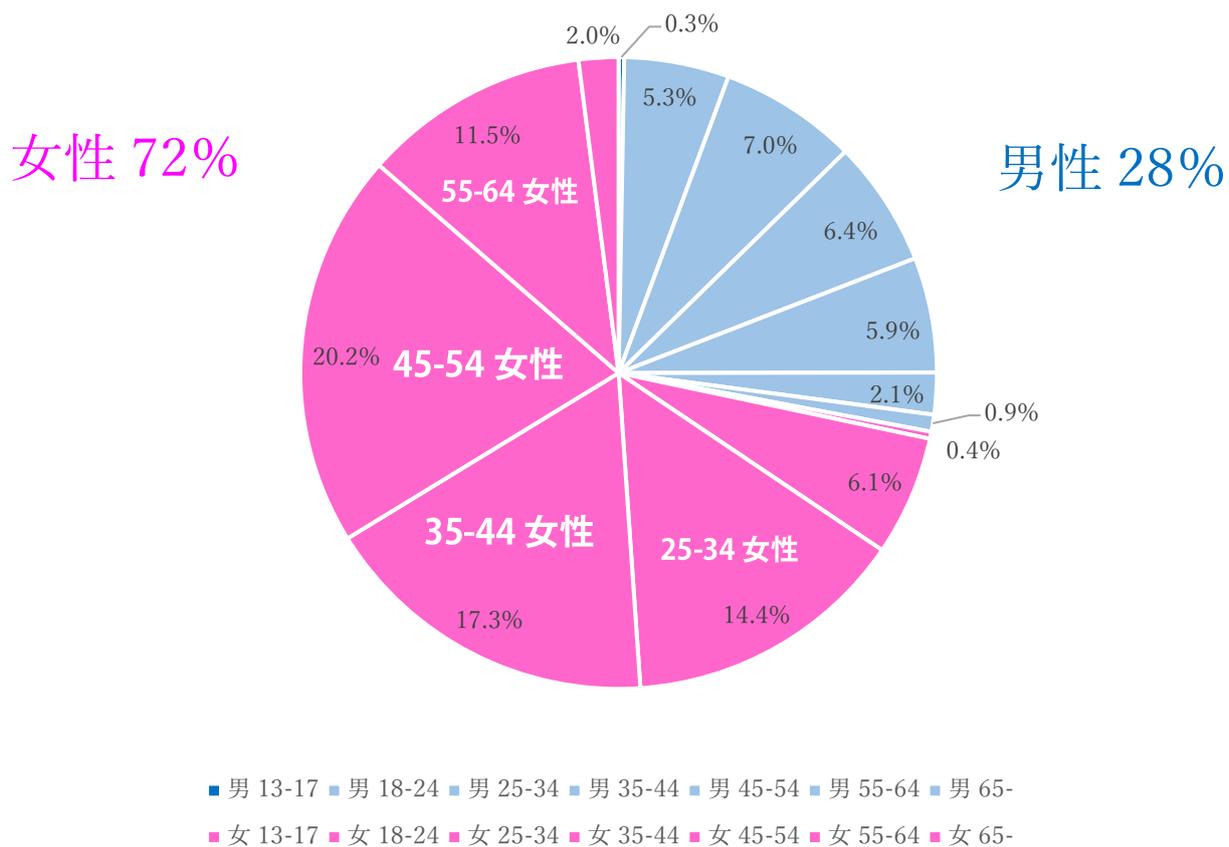


週計（棒）

週ごとの投稿件数（1投稿に2作品あっても1カウント）



課題公開アカウント@shu_1mai フォロワーの性別と年齢



課題公開アカウント@shu_1mai フォロワーの年齢（男女合算）

